

サステナビリティ 経営の推進

企業グループ理念の実現に向けた重要課題

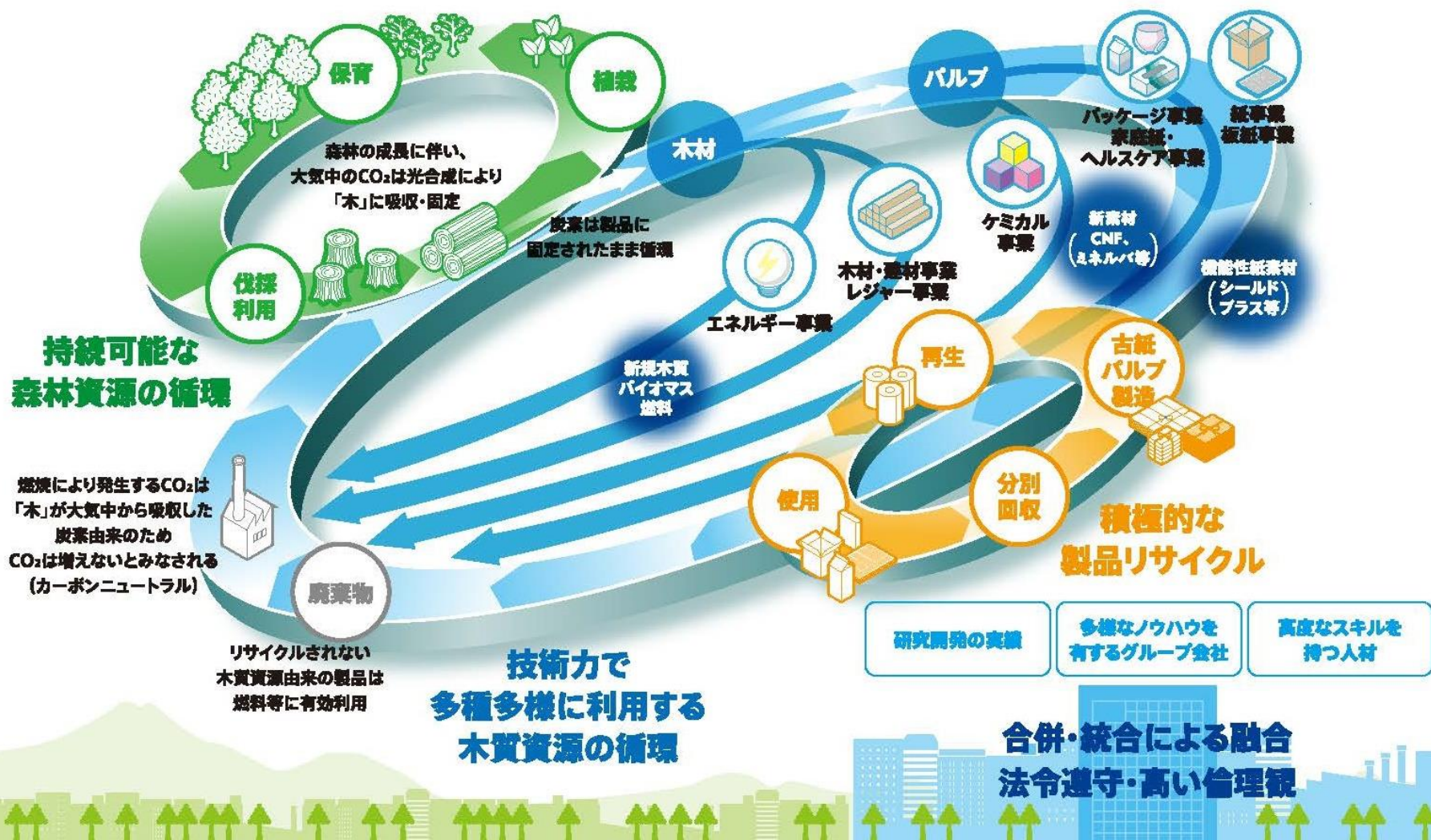
理念

日本製紙グループは世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

目指す企業像	重要課題	SDGs
1. 事業活動を通じて持続可能な社会の構築に寄与する	バリューチェーンを通じた ・気候変動への対応 ・持続可能な森林資源の活用 ・生物多様性の保全 ・資源循環の推進 ・環境負荷の低減 ・人権の尊重	     
2. お客様のニーズに的確に応える	・社会環境の変化への対応 ・製品の安定供給・安全性向上	     
3. 社員が誇りを持って明るく仕事に取り組む	・多様な働き方の実現 ・多様な人材の活躍 ・労働安全衛生の推進	     
4. 安定して利益を生み出し社会に還元する	上記1～3の取組みによる事業成長に加え ・ガバナンスの充実 ・ステークホルダーとの対話 ・地域・社会との共生	  

サステナビリティ経営の推進

木質資源の特性を活かした「3つの循環」の推進



木質資源の特性を生かした「3つの循環」を強化することで、「事業成長」と「循環型社会構築への寄与」の両立を実現

持続可能な森林資源の循環

- ・国内外に保有する約17万haの植林地や社有林を通じた森林価値の最大化を追求
- ・アムセル社の植林地をフィールドに独自の育種・増殖技術を開発し、アムセル社の植林地の生産性は大きく向上
- ・育種・増殖技術を他の森林にも展開し、単位面積当たりのCO₂固定量の増大を図り、森林経営の生産性を向上させる

技術力で多種多様に利用する木質資源の循環

- ・木質資源を利用したさまざまな環境配慮型製品を開発し、CO₂固定量拡大を進める
- ・CNFやミネルパ®などのバイオマス素材や新たなバイオマス燃料によって、事業成長を実現するとともに、木質資源を通じた炭素の循環を図る
- ・日本製紙クレシアの「長もちロール」や、軽量化を可能とするCNF強化樹脂によって輸送時のCO₂発生量抑制につなげる

積極的な製品リサイクル

- ・これまで再資源化が困難であった未利用古紙の活用に積極的に取り組む
- ・紙カップや紙パック製品、バリア性紙素材の回収スキームを構築し、環境負荷の極小化を進める

◆ 監督と執行の分離

- ・ 社外取締役の機能強化

◆ 執行における権限と責任の明確化

- ・ チーフオフィサーの配置
(技術、原材料、研究開発、物流)

◆ サステナビリティを巡る課題への対処

- ・ 災害への対応
(BCMの運用、BCPの策定)
(地震災害や豪雨災害などに対する備え)
- ・ TCFD提言に沿った情報開示の充実